



Photo:来田 猛 | 象庵

< 展覧会情報 >

堀尾貞治展 書

2022年7月2日(土) - 7月24日(日)

開廊時間: 土曜日-水曜日 11:00-17:00 休廊日: 木曜日・金曜日

Galerie Ashiya Schule ギャラリーあしやシューレ

〒659-0016 兵庫県芦屋市親王塚町3-11

Tel/Fax: 0797-20-6629

E-mail: info@ashiyaschule.com

URL: <http://ashiyaschule.com>

ギャラリーあしやシュールでは、2022年7月2日（土）より7月24日（日）まで「堀尾貞治 書」展を開催いたします。

堀尾貞治(b.1939)は1957年第10回芦屋市展入選時に吉原治良と出会い、1965年第15回具体美術展（グタイピナコテカ大阪）に初出品。1966年に具体美術協会会員となり、以降1972年具体解散まで連続出品しました。その後、年間100回以上に及ぶ個展・グループ展、2013年ニューヨーク・グッゲンハイム美術館 Gutai: Splendid Playground のオープニングパフォーマンス等、国内外数多の展覧会を通して、ダイナミックな人間の創造性と想像力を観るものに示してきました。

本展では、堀尾貞治「書」の作品を中心に、「墨書による着物」の初展示も行います。

幼い頃より、民芸運動に造詣の深い叔父・堀尾幹雄（後に大阪民芸協会理事）に絵・書の才能を認められ、自身の展覧会はもとより友人親戚宅の襖、横断幕などにも「書」を書き続けてきました。

「空気」「同時空間」「色塗り」等々、「あたりまえのこと」のタイトルのもとに数多くの作品が制作されてきました。個人の存在を越えた時間をとらえ、そのためのコンセプトや方法の模索であった一連の制作の中で、堀尾貞治の「書」に見える行為は、一即一切の関係性を表したものとも言えます。是非ともご高覧くださいませようお願い申し上げます。

また、堀尾貞治が参加する「地球がまわる音を聴く : パンデミック以降のウェルビーイング」展が森美術館で開催されます。併せてご案内いたします。

<森美術館>

東京都港区六本木6丁目10-1 六本木ヒルズ森タワー

「地球がまわる音を聴く：パンデミック以降のウェルビーイング」

2022年6月29日-11月6日

参加アーティスト：オノ・ヨーコ、小泉明郎、ヴォルフガング・ライブ、堀尾昭子、堀尾貞治、ツァイ・チャウエイ、ギド・ファン・デア・ウェルヴェ、ゾーイ・レナード、内藤正敏、エレン・アルトフェスト、青野文昭、モンティエン・ブンマー、ロベール・クートラス、飯山由貴、金崎将司、金沢寿美

堀尾貞治略歴

- 1939 神戸市に生まれる
 - 1957 第10回芦屋市展に入選、この時に吉原治良に出会う
 - 1965 第15回具体美術展（グタイピナコテカ大阪）に初出品
 - 1966 具体美術協会会員となり、以降1972年具体解散まで連続出品
 - 1970～ 関西を中心に個展、パフォーマンスを行う
 - 1985 空気を具現化する「あたりまえのこと」シリーズをはじめ
 - 1998～ 年間100回に及ぶ無数の個展、グループ展、パフォーマンスを行う
 - 2002 芦屋市立美術博物館で堀尾貞治個展-32日間のパフォーマンス
 - 2005 横浜トリエンナーレ2005-82日連続パフォーマンス
 - 2013 Gutai: Splendid Playground ニューヨーク・グッゲンハイム美術館
 - 2014 BB美術館で堀尾貞治個展
 - 2016 A Feverish Era in Japanese Art/BOZAR ブリュッセル美術センター
 - 2017 東アジア文化都市2017京都「アジア回廊現代美術展」
 - 2018 Axel Vervoordt Gallery 個展、ベルギー・香港
- 11月死去

本展に関するお問合せ

GALERIE ASHIYA SCHULE ギャラリーあしやシュール

〒659-0016 兵庫県芦屋市親王塚町3-11 tel/fax 0797-20-6629

mail: info@ashiyaschule.com/galerieashiyaschule@gmail.com

web:www.ashiyaschule.com